

各 位

令和 5 年度稲作情報 第 1 号について

このことについて、送付しますので業務及び水稻栽培の参考にしてください。

令和 5 年度 稲作情報 第 1 号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1. 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を 6 分割。1 半旬は 1~5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)
3	3	11.6	10.0	1.6	18.6	14.4	4.2	5.4	5.6	-0.2	13.5	19.6	69	37.6	28.1	134
	4	12.5	10.7	1.8	17.6	15.3	2.3	8.5	6.3	2.2	13.0	19.0	68	20.0	28.9	69
	5	15.1	11.2	3.9	18.1	15.8	2.3	12.6	6.8	5.8	43.5	19.0	229	10.7	30.3	35
	6	12.6	12.1	0.5	18.6	16.8	1.8	7.4	7.7	-0.3	6.5	23.9	27	44.2	37.8	117
4	1	15.3	13.0	2.3	19.5	17.7	1.8	11.6	8.8	2.8	13.5	22.9	59	38.3	30.7	125
	2	13.7	13.5	0.2	18.6	18.1	0.5	9.4	9.4	0.0	25.0	24.6	102	39.3	30.0	131
	3	15.3	14.0	1.3	20.2	18.6	1.6	10.2	9.9	0.3	58.0	25.1	231	27.1	30.4	89
	4	18.0	14.7	3.3	23.6	19.3	4.3	12.7	10.5	2.2	0.0	24.8	0	41.0	30.6	134
	5	14.6	15.4	-0.8	18.2	20.1	-1.9	11.8	11.1	0.7	40.5	22.4	181	21.1	32.0	66
	6	16.1	16.4	-0.3	21.7	21.2	0.5	11.3	11.9	-0.6	65.5	19.6	334	38.1	34.4	111
5	1	17.5	17.4	0.1	23.4	22.4	1.0	11.9	12.8	-0.9	9.5	20.1	47	34.8	35.5	98
	2	16.4	18.1	-1.7	21.4	23.1	-1.7	11.9	13.6	-1.7	115.5	24.4	473	31.9	35.0	91
	3	18.1	18.8	-0.7	23.7	23.7	0.0	13.8	14.3	-0.5	8.0	26.1	31	38.5	35.1	110

育苗期間である 3 月 4 半旬~4 月 3 半旬の気温は平年より 1~4℃ 高く推移した。移植が始まった 4 月 4 半旬は平年より 3℃ 程度高かったが、その後 5 月 3 半旬にかけてやや低く推移した。4 月 3 半旬~5 月 3 半旬は降雨のない日が多かったが、まとまった降雨も数日見られ、降水量は平年より多かった。降水量の多かった 4 月 5 半旬は日照時間が少なく、その後は平年並みで推移した。

2. 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4月21日移植 17.8株/m²(59株/坪)
(5月15日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	27.1	30.3	26.5	89	102	平年並
茎数(本/m ²)	74	135	101	55	73	少ない
葉齢(L)	6.2	6.6	6.1	-0.4	0.1	平年並
葉色(SPAD) ^{注1}	28.1	36.3	33.5	-8.2	-5.4	薄い
葉色(葉色板)	2.8	4.3	—	-1.5	—	—

※平年値:平成28年～令和4年までの値から最高・最低値を除いた平均値

注1)平成28年,令和2年～令和4年の平均値

草丈は平年並みで推移している。移植後の気温がやや低く推移したため分けつ茎の発生が遅れ、茎数は平年の7割と少ない。葉色の発現も遅れている。4月22日頃、5月7日頃の強風によって第3～4葉に黄化が見られる。

3. 今後の管理について

(1) 浅水管理の徹底により分けつ茎の発生を促進し茎数の確保を図る(田面が露出しない程度)。

一発除草剤の処理を終えた圃場では速やかに浅水管理に移行し、分けつ茎の発生を促進してください。湛水したままでは葉身が伸び過ぎ、分けつ茎の発生が抑制され、今後の生育(収量)に支障をきたします。

(2) たい肥等の有機物をすき込んでガスの発生が多い圃場では、一度落水しガス抜きを行う。

ただし、強風の場合は稲体の水分収奪を少なくするために湛水してください。

(3) 補植が終わった圃場では、置き苗を早急に処分する。

置き苗は病害虫特に「いもち病」の発生源となるので処分してください。

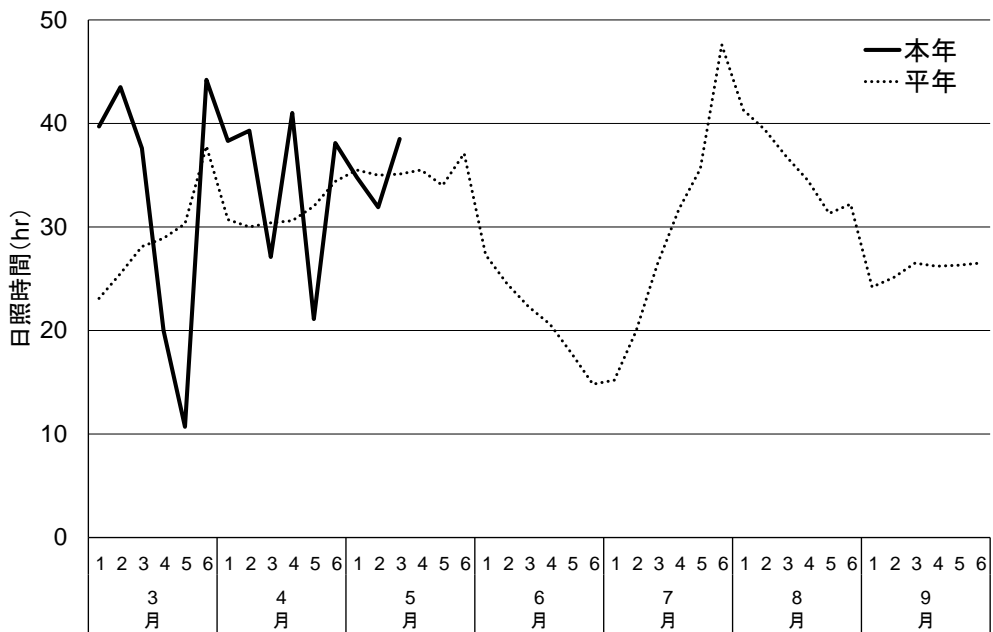
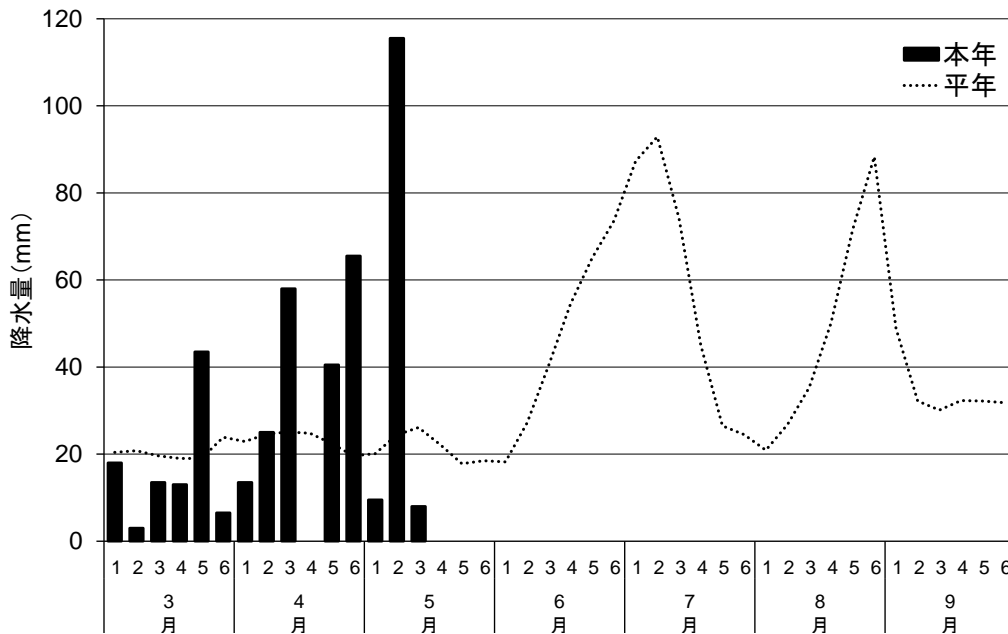
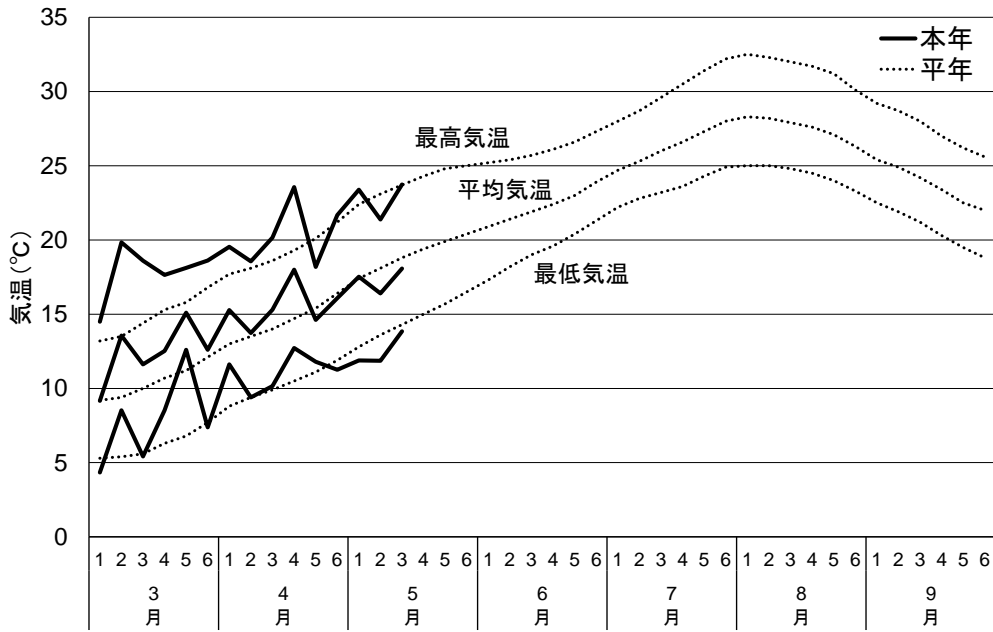
(4) まだ除草剤を散布していない場合は稲体の回復後に散布する。

流れ葉となっている圃場では稲の回復を待つて除草剤を散布してください。流れ葉となっていない圃場では、大雨を避け、雑草の葉齢を確認して使用時期の範囲内で速やかに散布してください。

(5) スクミリンゴガイが多発する圃場では浅水管理に努める。

スクミリンゴガイが多発する圃場では、浅水にして貝の活動の抑制に努めてください。また、必要があれば薬剤防除を実施してください。

令和5年産 水稲作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成22年~令和2年の平均値